

【アメリカ】北朝鮮政策に関する下院公聴会

海外立法情報課 新田 紀子

* 2014年7月30日、下院外交委員会アジア・太平洋小委員会は、「米国の北朝鮮政策の20年：枠組合意から戦略的忍耐へ」と題する公聴会を、国務省関係者を証人として開催した。

1 出席委員の冒頭発言

スティーヴ・シャボット (Steve Chabot) 下院外交委員会アジア・太平洋小委員長 (オハイオ州、共和党) は、冒頭発言で、①北朝鮮は、アジアの平和と安定にとり、安全保障上の最大の脅威の1つであり、米国にとり最も厄介な安全保障の課題の1つである、②「米朝間枠組合意」署名以来20年であるが、米国の対北朝鮮政策は最大の政策的失敗の1つである、③北朝鮮が、核・ミサイル能力を制限する交渉を切望するのを待つというオバマ政権の「いわゆる戦略的忍耐 (strategic patience)」政策は粉々に壊れつつある、④現在の政策の方向では、北朝鮮の非核化は捉えどころのない目標であると指摘し、今こそ、我々の資源を結集し、行動すべき時であると述べた。

アミ・ベラ (Ami Bera) 同小委員会民主党筆頭委員代行 (カリフォルニア州) は、北朝鮮の核兵器への野心に加え、米国の同盟国である韓国や日本への攻撃性、悲惨な人権問題の実情を非常に懸念していると述べ、日本が、拉致問題を解決するため、北朝鮮との外交的な対話を進めようとしているにもかかわらず、2014年6月の北朝鮮人民軍による日本海に向けた短距離ミサイル発射のような、米国の同盟国に対する挑発行為は深く懸念される、また、日米韓3国関係とともに米中関係は、南北間対立の解決に重要であると発言した。

2 日米韓3国関係

グリン・デイヴィーズ (Glyn Davies) 米国北朝鮮政策担当特別代表は、冒頭発言で、北朝鮮は、前提条件なしの対話を求めているが、北朝鮮が、非核化を約束した2005年共同声明の実施に最優先に取り組まないならば、我々は話し合いに関心がないと述べた。また、北朝鮮政策の中心は韓国であるが、60年目を迎えた米韓同盟はかつてないほど強化されており、さらに、日米韓の安全保障上の協力は、北朝鮮に対し抑止の強力なメッセージになると発言した。

3 「戦略的忍耐」政策

デイヴィーズ特別代表は、「戦略的忍耐」という言葉は自分が特別代表になる前からあるが、自分は、米国の対北朝鮮政策を「戦略的忍耐」と説明したことはない、ジョン・ケリー (John Kerry) 国務長官は就任後に最初にこれについて聞かれた際、我々の北朝鮮政策は、戦略的苛立ち (strategic impatience) と答えたほどであると説明した。

4 日本人拉致問題

シャボット小委員長は、拉致問題について、同小委員長が拉致被害者横田めぐみさんの両親や拉致被害者の家族に会ったことに触れ、「本当に悲しい、とんでもない話」であるとしつつ、最近、日本と北朝鮮が日本人拉致被害者の問題で再び話し合い、北朝鮮は、日本の一部制裁解除と交換に拉致被害者の再調査に合意したが、この合意の予想される結果と北朝鮮の調査再開の動機について、また、日本と北朝鮮が合意に達する前に米国はどれほど事前に通告を受けていたのか、北朝鮮のごまかしと欺きの長い前歴を考えるならば、この交渉に懸念はないのかと尋ねた。

これに対し、デイヴィーズ特別代表は、まず、米国は、この人道上の悲劇を解決しようとする日本の切望を完全に理解し、その観点から支持していること、同特別代表自身も何度も横田夫妻に会い、またキャロライン・ケネディ（Caroline Kennedy）駐日大使が初めて横田夫妻に会った際にも同席していたことに触れ、我々は、日本政府だけではなく、日本国民がこの問題の解決を望んでいることを理解しており、米国は日本政府の努力を支持していると述べた。次に、日本は、日本が北朝鮮に対してとる限定的な措置について大変緊密に米国に情報を提供してきていると述べ、米国は、日本に対し、日本が透明性をもって行う限り、日本が行う努力のすべてを支持していることを示すとともに、公にもその旨発言していると答えた。加えて、我々すべてにとり非常に重要なことは、北朝鮮の核とミサイルの脅威という我々が有する最重要の懸念を日本が共有していることであり、日本は、この点において同意する旨米国に対し明白に示していると説明し、我々は[日本の努力を]注視し、支持し、どのような方向に向かうか見ていくと答えた。さらに、北朝鮮は今、自らが日本に対して行うと約束した調査を行うという困難な状況にある、我々は、北朝鮮がどのような結果を考え出すか、また、日本が彼らに課した試験に答えるかどうかについてしっかりと注視していくと付言した。

参考文献(インターネット情報は 2014 年 10 月 17 日現在である。[])は筆者による補足。)

- ・ 下院外交委員会公聴会の模様 <<http://foreignaffairs.house.gov/hearing/subcommittee-hearing-twenty-years-us-policy-north-korea-agreed-framework-strategic-patience>>